

平成26年度 第1期

清川泰次—かたちの変遷

会期:2014年4月5日(火)ー7月27日(日)

入場者数:887人

担当者:村上由美

本展では、清川泰次の初期の写実的な表現の作品から、晩年の幾何学的なかたちで構成された作品まで、清川泰次のかたちに対する捉え方の変遷を紹介した。

大学生時代、写真部に所属していた清川泰次が、本格的に絵を描くようになったのは、二科会に所属していた織田廣喜との出会いであった。織田の絵画へ取り組む真摯な姿勢に感動した清川は、画家として生きていく事を決意。人物や静物などが描かれた具象的な作品を発表し、1947年、二科展に初入選した。しかし、戦後、清川泰次は従前の具象的表現に対して疑問を持ち始めるようになり、1951年、当時、抽象絵画の潮流の中心であったアメリカへ渡った。3年後に帰国すると精神的に作品を発表した。それらの作品からは、次第に具体的なイメージが消え、抽象的な表現へと変化していった。そして晩年の作品は幾何学的な形体によって構成されていくようになる。本展では、清川泰次のこうした変遷が辿れるように、絵画作品28点にスケッチやデッサンなどを加えて展示した。また、小展示室では、清川が大学生時代に撮影した写真も併せて紹介した。

出品目録

清川泰次

No.	制作年	材質
1	りんごとパイプ	1946 板、油彩
2	親子立像	1946-1947 板、油彩
3	(横顔)	1947 板、油彩
4	(横顔)	1948 板、油彩
5	三人	1948 カンヴァス、油彩
6	(横臥)	1950頃 板、油彩
7	(4人)	1950頃 板、油彩
8	(静物・パイプと灰皿)	1950頃 板、油彩
9	親子	1951 カンヴァス、油彩
10	(アメリカ滞り時代の小作品)	1951 カンヴァス、油彩
11	TRANSPARENT STILL LIFE	1951 カンヴァス、油彩
12	港 55-6	1955-1956 カンヴァス、油彩
13	グリーン構成-56	1956 カンヴァス、油彩
14	レークサイド-56	1956 カンヴァス、油彩
15	マンダレー	1956 カンヴァス、油彩
16	早春-56	1956 カンヴァス、油彩
17	20号の白の風景-56	1956 カンヴァス、油彩
18	走る太陽	1959 カンヴァス、油彩
19	白の世界F6-73	1973 カンヴァス、油彩
20	Painting No.68-73	1973 カンヴァス、アクリル
21	Painting No.2793	1993 カンヴァス、アクリル
22	Painting No.1494	1994 カンヴァス、アクリル
23	Painting No.1594	1994 カンヴァス、アクリル
24	Painting No.3095	1995 カンヴァス、油彩、アクリル
25	Painting No.1095	1995 カンヴァス、アクリル
26	Painting No.198	1997 カンヴァス、アクリル
27	Painting No.4399	1999 カンヴァス、アクリル
28	Painting No.4899	1999 カンヴァス、アクリル

スケッチ類(1948年頃)4点、裸婦デッサン(1956年)1点

<小展示室>

No.	作品名	制作年	材質
29	Stainless Object C-3 No.3891	1990	ステンレス3点組

資料 白黒写真15点 撮影:清川泰次 昭和10年代
 *展示写真は清川泰次のネガをもとにデジタル化しリプリントした。
 スケッチ3点 1950年頃

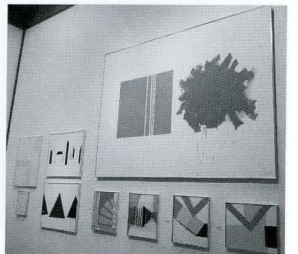


B3ポスター



A4チラシ

展示風景



清川泰次(1919-2000)は、戦後、本格的に絵を描き始めるようになり、抽象表現主義が台頭していたアメリカへ1951年から3年間、そして再び1963年から3年間にわたって滞在し、絵の制作に励んだ。そして制作の根拠を、人物や風景といった具体的な事物である「もの」からではない、自由な表現を求め、生涯にわたり作品を制作し続けた。「もの」からできるだけ距離を置くことを意識した清川泰次にとって、絵画を成立させるために「色」は、とても重要なテーマであったといえる。

本展では、清川泰次の作品から「色」に注目し、初期作品から晩年までの作品を紹介した。「色」がまだ「もの」を形成するための一要素として役割を担っていた初期の作品。そして「色」そのものが絵画の主役となった1960年代の油彩作品は、一見、一色に見えるような画面のなかにも、微妙な色やマチエールの工夫をみることができる。更に、アクリル絵具の明快な色と色の響き合いが感じられる晩年の作品など25点の絵画作品を展示した。

小展示室では、清川泰次が1954年頃、ヨーロッパを旅行した時に撮影した、当時としてはまだ珍しいカラー写真も併せて紹介した。

出品目録

清川泰次

No.	作品名	制作年	材質
1	ベガス	1947	カンヴァス、油彩
2	仮面のある	1953	カンヴァス、油彩
3	黒と赤の三角	1952-1954	カンヴァス、油彩
4	谷間の街(黒とグリーン)	1956	カンヴァス、油彩
5	海に見える街-56	1956	カンヴァス、油彩
6	ピンクの空	1956	カンヴァス、油彩
7	白の右下にピリジャン	1960	カンヴァス、油彩
8	ピリジャンの絵	1962頃	カンヴァス、油彩
9	白の中のパールグリーン	1962	カンヴァス、油彩
10	イタリーの空	1962	カンヴァス、油彩
11	ライトブルー一色の絵	1962-1963	カンヴァス、油彩
12	ザ・セルリアンブルー 100M-11-63	1962-1963	カンヴァス、油彩
13	白M40-63	1963	カンヴァス、油彩
14	Painting No.5-62-3 赤とグレー	1963	カンヴァス、油彩
15	Painting No.SF364	1964	カンヴァス、油彩
16	紫のある風景	1970頃	カンヴァス、油彩
17	Painting No.194	1994	カンヴァス、アクリル
18	Painting No.394	1994	カンヴァス、アクリル
19	Painting No.494	1994	カンヴァス、アクリル
20	Painting No.3896 デザイン控えノート 1点、ハンカチ2点	1996	カンヴァス、アクリル

<小展示室>

21	Painting No.3194	1994	カンヴァス、アクリル
22	Painting No.2296	1996	カンヴァス、アクリル
23	Painting No.2396	1996	カンヴァス、アクリル
24	Painting No.697	1997	カンヴァス、アクリル
25	Painting No.797	1997	カンヴァス、アクリル
26	Stainless Object NIJI No.3191	1991	ステンレス6点組

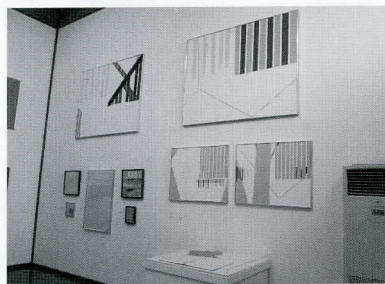
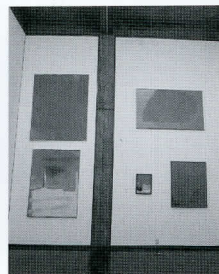
資料 カラー写真8点 撮影：清川泰次 1954年頃
*展示写真は清川泰次のポジフィルムをデジタル化してプリントした。



B3ポスター



A4チラシ



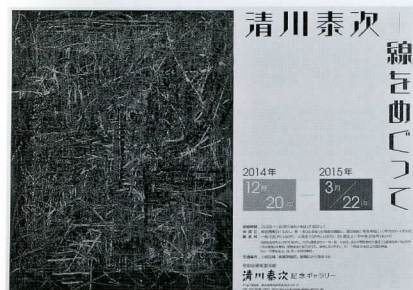
展示風景



清川泰次—線をめぐって

本展では、清川泰次の作品の「線」に注目した。清川泰次の絵画の線は、実に様々に変化する。初期の作品に見られる、モノをかたちづくるための輪郭としての役割だった線は、次第に、線、それ自体が主役となっていく。主役となった線は、その後多種多様なバリエーションを展開していった。画面に塗った絵の具を、鉛筆で引つ掻いた鋭い線の作品、絵の具のチューブを絞りだした柔らかな、立体的な線の作品など、清川泰次は、様々なマチエールの線に挑戦した。そして複雑に絡んでいた線は、時に禁欲的なまでにシンプルな線で構成された作品や、リズムカルな動きのある線へと変化していった。本展では、清川泰次の初期作品から晩年までの絵画作品26点をご紹介します、清川泰次の作品を通じて、豊かで、様々な可能性が広がる線の魅力を鑑賞者が発見するきっかけとした。

小展示室では、清川泰次が大学の写真部に所属していた頃の、構図などにこだわって撮影していたモノクロ写真を併せて紹介した。

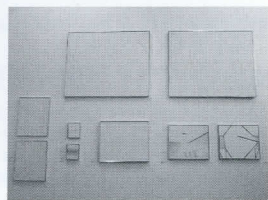
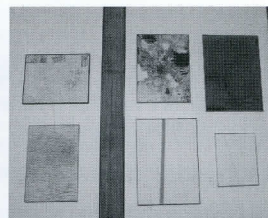


B3ポスター



A4チラシ

展示風景



出品目録

清川泰次

No.	作品名	制作年	材質
1	ピリジャンでおおわれた作品	1955頃	カンヴァス、油彩
2	タイトル不詳	1950代	カンヴァス、油彩
3	レークサイド-56	1956	カンヴァス、油彩
4	ペールグリーンの中の自由な線-57	1957	カンヴァス、油彩
5	白の中の横線群	1957	カンヴァス、油彩、鉛筆
6	ペールグリーンの上にチューブからの白	1958-1959	カンヴァス、油彩
7	朝まだき	1959	カンヴァス、油彩
8	気ままな朱	1959	カンヴァス、油彩
9	季節の外-59	1959	カンヴァス、油彩
10	白チューブより	1961	カンヴァス、油彩
11	Painting No.SF3564	1964	カンヴァス、油彩
12	Painting No.NY2166	1966	カンヴァス、油彩
13	タイトル不詳	1970年代前半	カンヴァス、油彩、鉛筆
14	タイトル不詳	1970年代前半	カンヴァス、油彩、鉛筆
15	Painting No.147980	1980	カンヴァス、アクリル、鉛筆
16	Painting No.281-B	1981	カンヴァス、アクリル、鉛筆
17	Painting No.381-B	1981	カンヴァス、油彩、アクリル、鉛筆
18	Painting No.2283-4	1983	カンヴァス、アクリル、鉛筆
19	Painting No.684	1964	カンヴァス、アクリル、鉛筆
20	Painting No.884	1984	カンヴァス、アクリル、鉛筆
21	Painting No.4190	1990	カンヴァス、油彩
22	Painting No.996	1996	カンヴァス、アクリル

スケッチ 2点

<小展示室>

23	Painting No.467980	1980	カンヴァス、アクリル
24	Painting No.497980	1980	カンヴァス、アクリル、鉛筆
25	Painting No.557980	1980	カンヴァス、アクリル、鉛筆
26	Painting No.4496	1996	カンヴァス、アクリル、鉛筆
27	Stainless Object No.4291	1989	ステンレス
28	Stainless Object 合掌 No.2891	1991	ステンレス

資料 白黒写真8点 撮影:清川泰次 昭和10~20年代

*展示写真は清川泰次のネガフィルムをデジタル化してプリントした。